

# 3月11日、 噛みしめる。

この日をきっかけに、私が担当している、あるお客様の経営戦略が急変した。

拡大路線から、守りの路線へ。

経済動向が見えない中で、経営者と私はともに「最悪のシナリオ」を描く。

たとえば、震災の影響による東日本の売上の落ち込みを予測。

その状況下で耐えうる経営計画を議論する。

ショートした数字をどうするか。西日本や海外でカバーできるか。

当然、「この事業とあの事業は撤退せざるをえない」という厳しい判断になることもある。

だから、流れまかせの曖昧な提言などできない。

持てる知識と想像力のすべてをつかい、丁寧に判断を導く。

もちろん、そこに絶対的な正解があるわけではない。不安がないといえば嘘になる。

再編・M&A、様々な可能性につき社内外関係者と検証する。組織としてできる全てを注ぐ。

何のために、私たちが存在するのか。その意味を、今もう一度噛みしめる。

**Precious One.** かけがえのない仕事を。



Grant Thornton

グラントソントン太陽ASG税理士法人  
グラントソントン太陽ASG株式会社